



エコふなばし

環境新聞
第9号
平成28年3月1日
船橋市環境部
環境政策課

船橋市内に残る自然をたずねてみませんか。

市内には多くの自然が残されており、四季折々の自然や景色を楽しむことができます。平成27年度に「自然散策マップ」10コースを新しくしました。マップを片手にぜひ散策をお楽しみください。「自然散策マップ」は市ホームページで公開しているほか、環境政策課や各公民館でも配布しています。

自然散策マップ

1 アジサイを楽しむ 御滝不動・金杉コース
アジサイが多植えられ、初夏に歩くのが楽しいコースです。お寺や緑地以外にも、馬込公園付近の谷津を楽しむことができます。

2 谷津と斜面林
北谷津川沿いの水辺とそれを取りまく斜面林が織りなす自然豊かな谷津になっています。河川にはオニヤンマ、シマアメンボ、チョウトンボなどの水生昆虫や、河川周辺の水辺では、カルガモ、カワセミなど水辺を利用する鳥が見られます。初夏にはアジサイの花も楽しめます。

3 金杉緑地
緩やかな斜面になっている雑木林で、シラカシ、コブシ、コナラ、ムクノキ、イヌシジメなど多くの種類の木が見られ、名もついているため、木の名前が分からない人でも楽しめます。ムラサキケマン、チダケシシ、ツルクサなど、季節毎に野草も楽しむことができます。また、遊具などもあります。

4 御滝不動
直角三角形の形をした公園です。ソメイヨシノが多く植えられており、花見の時期とてもにぎやかです。園内には、遊具も多く設置されており子供連れでも楽しむことができます。

5 御龍山金蔵寺（御滝不動尊）
境内は巨木や老木に囲まれており、厳かな雰囲気が感じられます。ムクノキ、クヌギ、コナラ、イヌシジメなどの樹木があり、初夏には、多量のアジサイが咲き散ります。多くの野草も訪れ、カワセミも飛来します。春にはサクラ、初夏にはアジサイ、秋には紅葉、冬にはツバキが楽しめます。

6 御滝公園
遊った遊園などでよく見かけ、初夏から夏の終わりにかけて咲く黄色の花が特徴的なアサギアザミなど咲き、初夏に咲く。花は一日経ってしましますが、かわいい花を撮ることができます。

コース 全長 3.8km

- 1 金杉町バス停
- 2 谷津と斜面林
- 3 金杉緑地
- 4 御滝不動
- 5 御龍山金蔵寺（御滝不動尊）
- 6 御滝公園
- 7 野馬土手
- 8 新京成線御滝駅

▲ 標高は田喜野井・薬円台コース
平成27年4月 船橋市環境部 環境政策課 発行

船橋市自然散策マップ

船橋市では、自然を楽しみながら散策するための自然散策マップを配布しています。船橋市内の10コースを選定し、それぞれ自然を楽しむ見所や、そこで見ることのできる生き物たちを分かりやすく紹介しています。自然散策マップを片手にぜひ船橋市の自然を楽しんでください。

▲ 小室コース 4.4~4.5km(B)
船橋の北端を歩こう

▲ 大神保・二重川コース 5.2km(B)
野鳥を楽しむ

▲ 御滝不動・金杉コース 3.8km(A)
アジサイを楽しむ

▲ 藤原・丸山コース 2.9km
クヌギ・コナラの雑木林を楽しむ

▲ 古和釜・金堀コース 2.9~3.7km
のどかな田園を歩く

▲ 行田公園コース 6.3km
歴史と名木を訪ねる

▲ 緑台・高根コース 3.2km(A)
2つの谷津を歩く

▲ 田喜野井・薬円台コース 5.7km(A)
街の中に緑を探る

▲ 松が丘・木戸川コース 5.7km
谷津から市街地へ

(A)のマークの付いているルートは、少し上り、下りのあるルートです。
(B)のマークの付いているルートは、夏場に草が生い茂り、歩き難くなる道を通るルートです。

平成27年4月 船橋市環境部 環境政策課 発行

5・6月にはこのマップを使って「自然散策会」を開催しました。6月18日に行った御滝不動・金杉コースの自然散策会の様子をご紹介します！

自然観察指導員の解説のもと、散策会スタートです。



北谷津川沿いの斜面林でクサギ(臭木)のにおいを嗅いでみました。



少しコースを外れてナンキンハゼを見に行きました。



二和小学校脇の野馬土手へ。



約2時間半で4km程のコースを散策しました。参加者の皆さん、お疲れさまでした。

平成28年度も自然散策会の実施を予定しております。詳細は広報ふなばし等でお知らせしますので、ご期待ください！

参加者の声...

- ★自分で散歩しながらだと道端の植物の横をただ通り過ぎてしまいます。詳しい人と一緒だとただ通り過ぎるよりも楽しい。
- ★歩くことがメインの散策会だと思っていたが、立ち止まって植物を観察したり細かく色々教えてもらったり。このペースならば十分歩けますね。
- ★こんなところにこんな緑地が...と知らない場所がたくさんあって驚いた。

キーワード「生物多様性」

「生物多様性」とは生きものの豊かな個性とつながりのことです。私たちは暮らしに欠かせない水や食料、木材、繊維、医薬品をはじめ、様々な生物多様性のめぐみを楽しんで生活しています。そんな中でたくさんの生きものが今、絶滅の危機にあるとされています。その数は日本国内で3,597種。生物多様性を守るため、身近な取り組みから始めてみましょう。

生物多様性を守るための5つのアクション

- Act1** 地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。
 - Act2** 自然の中へ出かけ、動物園・水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。
 - Act3** 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。
 - Act4** 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。
市の花「カザグルマ」
 - Act5** エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。
- (参考 国連生物多様性の10年日本委員会「MY 行動宣言5つのアクション」)

団体紹介 北総の森・巨樹古木研究会

巨樹は、環境のセンサー・歴史の証です。私たちは、先人が遺産として郷土に残した貴重な森や林・巨樹古木から多くのことを学び、人間社会と共存する生態系豊かな森の再生と巨樹古木の保護・保全の諸活動を行っています。2001年4月に発足しました。

見る

船橋市など県北西部を中心に観察会を実施しています。観察会では手作りの「観察会マップ」を作っているのが特徴です。イラストや簡単な説明も入った楽しいマップです。また、巨樹を巡るだけではなく、巨樹・巨木を中心にして、周辺の森や植物、樹木を利用する昆虫や鳥、また、周辺に住む人々の歴史や生活をも含めた生態系すべてを観察の対象としているのも特徴です。

調べる

観察会の際や随時に、地域にある巨樹・巨木を環境省の定めた基準に基づいて測定調査してきました。特に、船橋市内では市内全域の巨木調査を行い、220本余を記載した「ふなばし巨木・名木マップ」を作成しました。

広める

観察会や調査の成果は、諸行事でパネルの展示、資料の配布などを行うことによって普及に努めてきました。

巨木・巨樹から森へ、次世代へ

今後も、郷土の自然環境意識を高め、巨木だけではなく、森や緑の回復へと保全の輪を広げるとともに、次世代につなげていくことができるような活動をしていきたいと考えています。

市内で開催した自然観察会の様子

